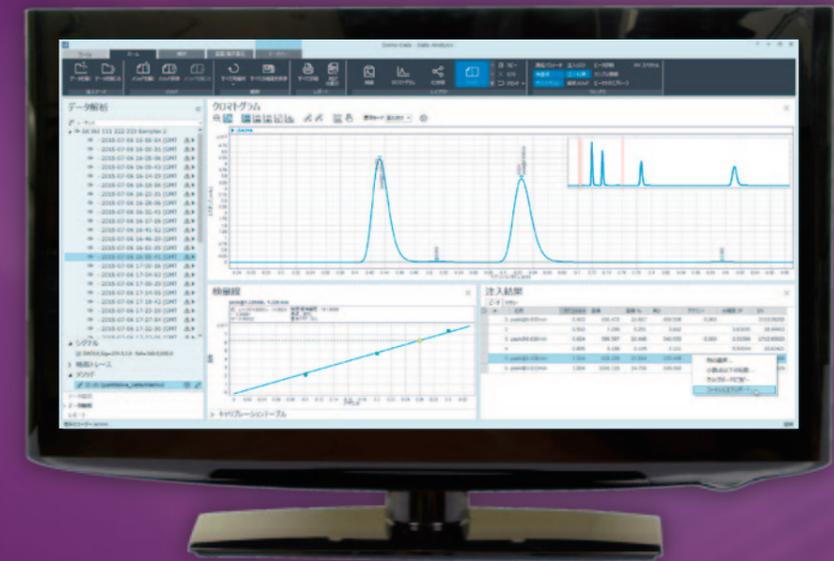


旧 ChemStation と OpenLAB CDS 2 との比較

項目	旧 ChemStation	OpenLAB CDS 2
ユーザーインターフェース	メニューやボタンがたくさんあり、何の機能があるのか分かりづらい。	リボンメニューとポップアップメニューで操作一新。分かりやすく、操作の手数が少ない画面。
起動と解析の動作速度	遅い。	マルチ画面を新採用し、不要な画面展開を削減。ボトルネックになっていた旧式マクロを排除。再解析速度は世界一。
解析操作	手数が多し。	ワンクリックでのデータ呼び出しや解析画面のレイアウトの自由設定を導入し、見やすく、手数が少ない解析操作を実現。ピークエクスプローラでクロマトグラムの差異を一瞬で表示。
ピークの積分	思い通りに積分することが難しい。	マニュアル積分により操作の手数が大幅削減。どんなに小さなピークでも思いのままに積分可能。
レポート編集	Bバージョンのレポートは、ユーザーは編集不可。	ユーザーが容易に自由に編集できる、インテリジェントレポート機能を標準搭載。
データインテグリティ対応	データが消せる、ログが分かりづらい、データインテグリティ対応に難あり。	Workstation Plus では、標準でデータベースを搭載。データ消去・改ざんの課題を解決。監査証跡の簡単なデータレビュー操作を実現。
他社装置コントロール	不可。	島津、Waters など他社製クロマトグラフのコントロールが可能。

OpenLAB CDS 2 による データ解析



www.agilent.co.jp/chem/openlab

カスタムコンタクトセンタ

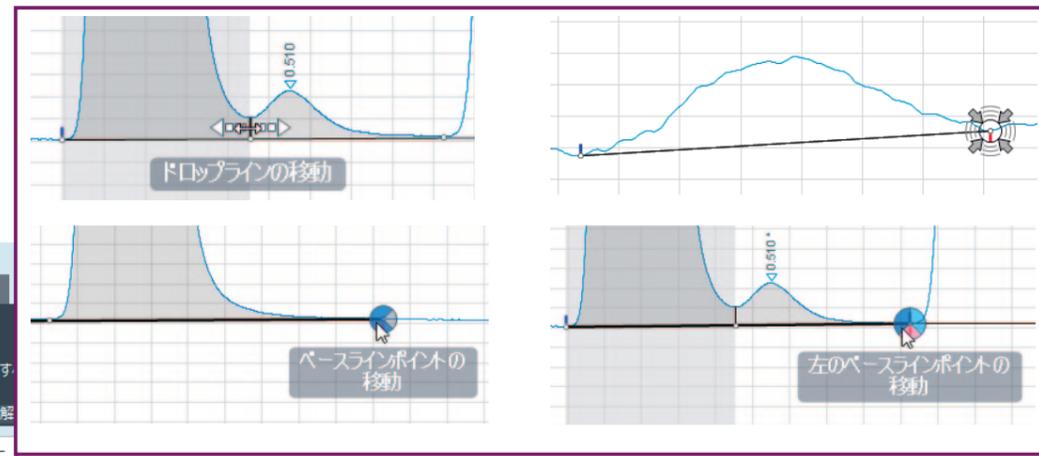
0120-477-111

email_japan@agilent.com

本資料掲載の製品は、すべて研究用です。本資料に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。アジレントは、本文所に誤りが発見された場合、また、本文書の使用により付随的または間接的に生じる損害について一切免責とさせていただきます。

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2017
Published in Japan, November 30, 2017
5991-8727JAJP

使いやすさに特化したデータ解析



進化したマニュアル積分
 マウスカーソルをベースラインやクロマトグラムに合わせるだけで、行いたい処理の項目が自動で表示されます。行いたい処理の項目が表示されたら、マウスをドラッグやクリックするだけでベースラインの作成や移動、ピークの分割やマージなどが行えます。また、指標となるクロマトグラムを重ね描きしながらマニュアル積分を行うことも可能です。

データ解析

シーケンス

- Ist Std 111 222 333 Samples 2
 - 2015-07-06 15-55-54 (GMT)
 - 2015-07-06 16-00-31 (GMT)
 - 2015-07-06 16-05-06 (GMT)
 - 2015-07-06 16-09-43 (GMT)
 - 2015-07-06 16-14-19 (GMT)
 - 2015-07-06 16-18-56 (GMT)
 - 2015-07-06 16-23-31 (GMT)
 - 2015-07-06 16-28-06 (GMT)
 - 2015-07-06 16-32-41 (GMT)
 - 2015-07-06 16-37-16 (GMT)
 - 2015-07-06 16-41-52 (GMT)
 - 2015-07-06 16-46-29 (GMT)
 - 2015-07-06 16-51-05 (GMT)
 - 2015-07-06 16-55-41 (GMT)
 - 2015-07-06 17-00-16 (GMT)

クロマトグラム

DAD1A

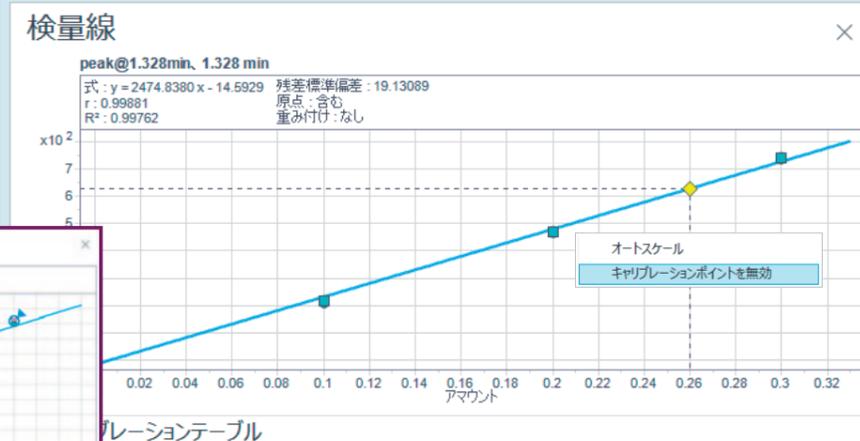
リテンションタイム [min]

ピーク情報:

- peak@0.435min
- peak@0.510min
- peak@0.626min
- peak@1.328min
- peak@3.023min

拡大図と全体図の同時表示
 クロマトグラムを拡大した際、拡大している箇所がすぐに分かるようにクロマトグラムの全体を表示することができ、さらに、クロマトグラムから拡大したい箇所をドラッグすれば、簡単に拡大箇所が表示できます。また、全体図には現在拡大している箇所が表示されるので、クロマトグラム全体を俯瞰しながら微小ピークの解析を行うことができます。

検量線の柔軟な定義付け
 検量線の作成後に使用するデータポイントを任意に選ぶことができます。使用しないデータポイントのチェックを外すだけで、すぐさまそのデータを無視した検量線に更新することができます。



注入結果

ピーク サマリー

#	名前	RT (min)	面積	面積 %	高さ	アmount	分離度 JP	SN
1	peak@0.435min	0.433	656.472	22.607	419.518	0.260		2113.09250
2		0.510	7.299	0.251	3.662		1.63695	18.44413
3	peak@0.626min	0.624	599.597	20.648	340.053	0.260	2.32599	1712.83023
4		0.895	4.196	0.145	2.111		5.54544	10.63421
5	peak@1.328min			11.634	235.448			1068
6	peak@3.023min			14.716	184.069			529

精度: 3
 '面積'の精度: 3
 列の選択...
 小数点以下の桁数...
 キャリブレーションポイントにコピー
 ファイルにエクスポート...

キャリブレーションテーブル

シリアル	原液濃度	検出アmount	検出濃度	検出率 %	レスポンス	アmount	検出データ
1	207.479	0.100	-15.1877	-0.0682	-8.8208	202.112	ICdemo DataResultAB_Ist Std 111 222 333 Samples 2.nIRK2
2	452.539	0.200	-4.2009	-0.0096	-0.9508	448.389	ICdemo DataResultAB_Ist Std 111 222 333 Samples 2.nIRK2
3	698.154	0.300	7.9831	0.0116	1.1550	705.018	ICdemo DataResultAB_Ist Std 111 222 333 Samples 2.nIRK2

再解析時の結果の確認
 クロマトグラムの再解析時、レポートの印刷をせずに確認できます。表示項目を変更して分離度や S/N などを表示したり、小数点以下の桁数を任意に設定することができます。

便利なファイルエクスポート
 結果データは CSV ファイル (.CSV)、Excel ブック (.xls)、Word 文書 (.doc)、PDF ファイル (.pdf) にエクスポートできるので、他のソフトウェアによる二次計算や報告書への転記が簡単になります。